

# 「生きている木」を使い、 宮大工の技を駆使して、 木造建築を後世に伝える。



宮大工 株式会社飛鳥工務店  
棟梁 鈴木鉄雄 代表取締役



## レベルの違いに驚き、 宮大工の道へ

「何だ、これは。レベルが違いすぎる」。あの木造建築を見たときの衝撃は忘れられません。

何よりも屋根の反りが美しい。日本古来の木造建築をつくる宮大工にしかできない技でした。

大工になり6年目。腕には自信がありました。それがボロ負けです。上には上がいる。高みを極めたい。すぐに社寺建築を手がける工務店に入り、宮大工としての修行を始めました。木と木を接合する「仕口」や「継ぎ手」などの技を磨き続けたのです。

4年後、念願の神社を建立。翌年、26歳のとき自分なりの宮大工を極めるため、会社を起こしました。

## 文化財修復、社寺、山車、 古民家、住宅設計施工

弊社は掛川城御殿や世界文化遺産「富士山」の構成資産の一部である御穂神社などの歴史的文化財の修復作業、社寺の新築・改修、山車・屋台の新造・改修、住宅設計・施工などをおこなっています。おおよそですが社寺の仕事が40%、残りがそれぞれ20%ほどの割合になります。文化財の修復は、建立された時代の様式や形などに合わせるだけでなく、当時の技だけを使い蘇らせるのです。その時代の大工道具をつくることも多々あります。

文化財修復、社寺、山車・屋台の仕事は、ひとつとして同じやり方が通用しません。毎日が勉強です。

住宅施工ではプレカットは使いません。木取りをし、墨をつけ、カンナやノミで正確に刻んでいく。日本伝統の技法を守り、手で組んでいきます。

## 自然乾燥した 「生きている木」だけを使う

木造住宅の材料は2種類あると、私は思っています。「生きている木」と「死んだ木」です。

「生きている木」とは、数か月から1年ほど外気で「自然乾燥」させた木材のことです。社寺仏閣は、何百年も朽ちません。「生きている木」でつくるからです。ところが高温の乾燥機で「人工乾燥」をすると、木は死んでしまいます。劣化は止まりません。実は今、日本では、ほとんどの木造住宅の材料は「死んだ木」なのです。

私は「生きている木」だけを使ってきました。家族が何代も暮らし続けていける、本物の家をつくるためです。

## 修繕・移築した100年前の建物が、 京都の新名所に

京都府東山区「青蓮院」さんからの依頼が、これまで最も印象に残っている仕事です。100年前の木造建築技術の粋を集めた貴重な建物を解体・修繕。それを山科区の「將軍塚」に「青龍殿」という名の護摩堂として移築しました。延べ床面積536㎡というスケールの大きさ。駆使した技術。やりがい、苦勞、達成感。すべてが別格でした。



解体した1000点もの部材を大型トラック6台で掛川の弊社工場に運び、痛んだ箇所を修繕。すかさず京都に戻し、大工職人25人で1年かけて移築しました。次の100年につなぐ大役を終えたのは、2014年10月でした。現在、国宝「青不動明王二童子像」などが安置され、京都の新しい観光名所として注目を集めています。



## 宮大工の技を伝承するために 若者を育てる

弊社には全国から宮大工になりたいという若者が集まります。募集は一切していないのに。

素人として入社し、技術を習得して5、6年後に巣立っていく。この繰り返しは、経営的にはキツイです。それでも、学んだ技術と自分たちの想いを少しでも次の世代に伝えてくれるのなら充分でしょう。

情熱あふれる若者に、伝統技術を伝承させたい。自分の頭で考えられる一人前の職人に育ててあげたい。弊社の使命のひとつだと考えています。

先輩たちの仕事ぶりを手本に、若い衆はひたむきに頑張る。「いい姿だなあ」そう思いながら見守っています。

## すべては施主さまのために、 木造建築の未来のために

今後は文化財の修復と社寺、山車に、これまで以上の力を注ぎます。若い衆に本物の伝統建築を学ばせるためです。そして何よりも文化財の修復をしながら、昔の大工さんがどう考えて、どのような技を使ったのか、「心の会話」をしたいのです。

目標はもうひとつあります。日本のすばらしい木造建築を後世に伝えることです。先日、建築家であり、筑波大学の教授でもある安藤邦廣先生と会談をさせていただきました。先生も自然乾燥の木を推奨しています。互いの力を合わせて「生きている木」の重要性を世間に浸透させたい。施主さまのために。木造建築の未来のために。

飛鳥のみんなど頑張っていきたいと思います。

### 企業データ



- 会社名 / 株式会社飛鳥工務店
- 代表取締役 / 鈴木鉄雄
- 所在地 / 静岡県掛川市浜野2940-9
- TEL 0537-72-6330 FAX 0537-72-7295
- 創業 / 1982年 ■ 設立 / 1995年
- 事業内容 / 文化財修復・社寺・屋台・山車・古民家・住宅設計施工
- 建築業登録 / 静岡県知事許可 第25589号
- JIO日本住宅保証 [保証番号: A4000228]
- URL <http://www.miyadaiku-asuka.co.jp>

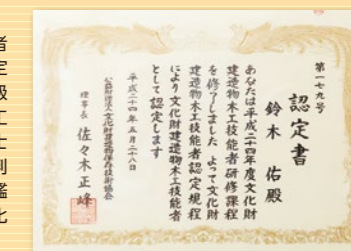


### 〈保有する資格一覧〉

- 文化庁(文建)文化財建造物木工技能者認定
- 日本伝統技術保存会技能者認定
- 建築大工一級技能士 ●建築大工二級技能士
- 二級建築士 ●二級建築施工管理技士
- 静岡県耐震診断補強相談士
- 静岡県地震被災建築物応急危険度判定士
- 日本住宅性能評価員 ●古民家鑑定士
- 地域文化財専門家 ●静岡県文化財建造物管理士

### 〈1982年から2017年までの実績〉

- 社寺33棟(新築・改修)、重要文化財1棟(解体・復元・修理)、市指定文化財3棟(改修・修理)、川越文化伝承車1台(大改修)、屋台・山車(新造27台・改修・修理・点検86台)、住宅190棟(新築・増築)



(長男が取得)